



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月5日

上場会社名 J - ゼネテック

上場取引所 東

コード番号 4492 URL <https://www.genetec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上野 憲二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画室長 (氏名) 金井 登志雄

TEL 03(6683)3244

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日 未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	933		40		40		27	
2020年3月期第1四半期								

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	15.21	
2020年3月期第1四半期		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,506	1,606	64.1
2020年3月期	2,691	1,637	60.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 百万円 2020年3月期 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				3.50	3.50
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,590	2.8	100	70.2	110	66.4	70	67.1	38.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	1,920,000 株	2020年3月期	1,920,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	109,000 株	2020年3月期	114,000 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	1,808,451 株	2020年3月期1Q	1,494,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済活動の停滞により景気の減速感が急速に強まりました。緊急事態宣言は一旦解除されたものの、感染第二波に対する懸念は依然として強く、景気の先行きに対する不透明感は強まっております。

このような経済環境下、2020年4月に本邦において緊急事態宣言が発出された後、システム受託開発事業におきましては一部テレワークを実施すること等により開発業務を継続出来たものの、感染拡大防止のため、やむを得ず営業活動を自粛するなど、事業環境に変化が生じました。

エンジニアリングソリューション事業におきましては、緊急事態宣言が解除された後、徐々に回復傾向にありますが、展示会の中止やテレワークの増加に伴い、販売代理店を含めた販売活動が全般的に停滞することとなりました。

当社グループの事業の特性上、売上高及び収益が第2四半期、第4四半期に集中する傾向があり、第1四半期は業績進捗が比較的低くなる傾向がありますが、当第1四半期連結累計期間においては上述のとおり新型コロナウイルス感染症拡大の影響が加わることとなりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は933百万円、営業損失は40百万円、経常損失は40百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は27百万円となりました。

各セグメント別の状況は次のとおりであります。

(システム受託開発事業)

デジタル情報家電分野においては新型コロナウイルス感染症影響下でもテレワークにより開発案件が継続したことや、半導体製造装置分野において半導体サイクルの回復を受けて売上が増加するなどの好材料もありましたが、主力分野であるオートモーティブ分野の開発案件の受注減による売上減少を補いきることができず、売上高は646百万円となりました。また経費面では外注費を削減し、緊急事態宣言中の営業活動自粛、展示会の中止により旅費交通費や広告宣伝費が大きく減少しましたが、上記の売上高減少を補いきれずセグメント利益は81百万円となりました。

(エンジニアリングソリューション事業)

海外大手ECサイトの日本法人向けに「FlexSim」(工場・物流・マテハン3Dシミュレーションシステム)を販売するなど明るい材料もありました。また主力商品である「Mastercam」(3次元CAD/CAMソフトウェア)は、およそ4割を占めるストック型売上(既存ユーザーに対するメンテナンス・サポート・カスタマイズ・トレーニングの提供)は前年同期並みの売上を確保しましたが、緊急事態宣言発令に伴う外出自粛要請の影響を受け、当社及び販売代理店の営業活動が停滞したことによりライセンスの新規・増設販売が低迷したため、売上高は236百万円、セグメント利益は22百万円となりました。

(その他事業)

スマートフォン用防災アプリ「ココダヨ」は、大手移動体通信会社の提供するスマートフォンアプリ定額利用サービスに対する広告出稿を増やした結果、従来より解約率が2%未満で推移していたこともあり、アクティブユーザー数が前連結会計年度より大幅に増加したため、売上高53百万円、セグメント利益11百万円となりました。なお、6月末には累計登録数が30万件を突破しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,034百万円となり、前連結会計年度末に比べて195百万円減少いたしました。これは主に、前連結会計年度末に増加した売掛金の回収が進んだことによる受取手形及び売掛金の減少388百万円と現金及び預金の増加153百万円によるものであります。固定資産は471百万円となり、前連結会計年度末に比べて10百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産のうち、繰延税金資産が15百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は2,506百万円となり、前連結会計年度末に比べて185百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は550百万円となり、前連結会計年度末に比べて150百万円減少いたしました。これは主に夏季賞与の支給に伴い賞与引当金が82百万円、買掛金が60百万円、前年度確定納付により未払法人税等が46百万円、それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は349百万円となり、前連結会計年度末に比べて3百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は899百万円となり、前連結会計年度末に比べて154百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,606百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円減少いたしました。これは主に当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純損失27百万円による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による業績への影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、本日「2021年3月期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」を公表いたしました。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報や予測等に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

また、今後の新型コロナウイルスの収束時期や影響範囲などが変動する可能性があり、当社グループの業績に重要な影響を及ぼす事象が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,123,065	1,277,035
受取手形及び売掛金	874,063	485,240
電子記録債権	95,838	69,503
商品	3,985	9,347
仕掛品	55,880	86,944
原材料及び貯蔵品	18,976	19,041
未収入金	22,537	33,409
その他	35,981	54,031
流動資産合計	2,230,330	2,034,552
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	60,892	59,216
工具、器具及び備品(純額)	14,646	13,937
有形固定資産合計	75,538	73,154
無形固定資産		
無形固定資産	9,081	8,094
投資その他の資産		
投資有価証券	18,614	19,833
敷金及び保証金	123,350	122,920
繰延税金資産	174,585	190,114
その他	60,893	58,715
貸倒引当金	△890	△890
投資その他の資産合計	376,553	390,693
固定資産合計	461,173	471,942
資産合計	2,691,504	2,506,495

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	240,649	180,227
短期借入金	40,243	40,243
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
未払金	117,604	108,523
未払法人税等	48,357	1,549
賞与引当金	167,722	84,926
受注損失引当金	—	4,473
その他	36,095	80,130
流動負債合計	700,672	550,073
固定負債		
社債	75,000	60,000
退職給付に係る負債	278,519	289,913
固定負債合計	353,519	349,913
負債合計	1,054,191	899,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	456,917	458,817
利益剰余金	1,143,950	1,110,130
自己株式	△11,345	△10,983
株主資本合計	1,639,522	1,607,964
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,210	△1,456
その他の包括利益累計額合計	△2,210	△1,456
純資産合計	1,637,312	1,606,508
負債純資産合計	2,691,504	2,506,495

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	933,537
売上原価	645,236
売上総利益	288,300
販売費及び一般管理費	328,301
営業損失(△)	△40,001
営業外収益	
受取利息	38
受取配当金	65
為替差益	49
その他	281
営業外収益合計	434
営業外費用	
支払利息	214
その他	408
営業外費用合計	623
経常損失(△)	△40,190
税金等調整前四半期純損失(△)	△40,190
法人税、住民税及び事業税	3,236
法人税等調整額	△15,927
法人税等合計	△12,691
四半期純損失(△)	△27,498
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△27,498

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	△27,498
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	754
その他の包括利益合計	754
四半期包括利益	△26,744
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△26,744

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	システム受託開 発事業	エンジニアリン グソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	643,258	236,575	879,833	53,704	933,537
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,572	194	3,767	—	3,767
計	646,830	236,770	883,600	53,704	937,304
セグメント利益又は損失(△)	81,656	22,551	104,208	11,351	115,559

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、災害発生時位置情報通知システム「ココダヨ」に係る研究開発を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	104,208
「その他」の区分の利益	11,351
セグメント間取引消去	△665
全社費用(注)	△154,895
四半期連結損益計算書の営業損失	△40,001

(注) 全社費用は、報告セグメントに配賦できない営業費用であり、その主なものは本社管理部門に係る費用であります。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。